

第一部 人文・社会科学基礎データ分科会（第24期・第4回）議事要旨

日時 令和2年3月2日（木）10～12時

会場 日本学術会議 5—C 会議室

出席 岡崎哲二、佐藤嘉倫、本田由紀、町村敬志、若尾政希、藤原聖子

説明人 長谷川壽一（大学改革支援・学位授与機構理事）

参考人 佐藤昭博（同評価事業部長）

議事

（1）本田委員長が前回の議事録をもとに、本分科会の目的（人文・社会科学をアピールする基礎データの収集）と本日の議事内容を確認した。

（2）大学改革支援・学位授与機構の長谷川理事から以下の資料に基づき、大学改革支援・学位授与機構から第3回国立大学法人評価およびその公開について、説明があった。

- 1）国立大学法人教育研究評価における研究活動に関する資料について
- 2）研究活動状況に関する資料（学系別）

（3）長谷川氏の説明について、質疑応答・意見交換がなされた。

結論的に述べれば、大学改革支援・学位授与機構が、国立大学法人評価のために収集した資料を、日本学術会議に提供することは、難しいとのことであった。

（4）藤原委員から、以下の資料にもとづき、海外における人社データの収集・公表について、報告があった。

- 1）人文・社会科学基礎データ 他校の例
HIP アメリカ芸術科学アカデミー
- 2）The Right Skills: イギリス学士院
- 3）DORA
- 4）リソース集の一部

（5）藤原委員からの説明について、質疑応答・意見交換がなされた。
の途中で予定していた2時間を超えたために、残りはメールによる審議を行うことにした。

（6）4月の第一部部会報告での報告について
簡単なレジュメを準備して、4月総会に際して開催される第一部部会で報告する。
本田委員長がレジュメの原案を作成し、メール審議を行って完成させることにした。

（7）今後のスケジュールについて

4月、6月、8月に一回ずつ行う。次回は、4月22日（水）10：00～12：00

